

23-1高分子と水・分離に関する研究会

2023年度界面動電現象研究会

主題 = ハイドロコロイドのレオロジー・安定性・界面動電現象

<趣旨> 高分子と水・分離に関する研究会では、界面動電現象研究会と共同する形で、生物資源や環境科学と関連の深い水系コロイドの凝集分散や界面動電現象について議論を深めて来ました。ハイドロコロイドという用語は食品コロイドやセルロース系素材を扱う生物資源科学の分野で頻繁に用いられていますが、その定義は不明瞭なまま推移しているように思われます。今年度の研究会では親水、疎水を問わず物質横断的視点から水に強い相互作用を持つ素材という視点で水系のコロイドとりあげ、講師の先生方から、レオロジー、測定法、凝集分散特性、界面動電現象について扱う時の考え方、物理的特徴、その理解の発展の経緯、現状、将来の方向性などについて講演していただき議論を深めていきたいと思いません。

主催 高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会 界面動電現象研究会

協賛 (予定) 応用物理学会 化学工学会 色材協会 繊維学会 日本繊維機械学会、土壤物理学会、日本化学会 日本化学会コロイドおよび界面化学部会 日本食品科学工学会 日本農芸化学会 日本分析化学会 日本水環境学会 日本薬学会 日本油化学会 日本レオロジー学会 食品ハイドロコロイド研究会 筑波化学技術懇話会 筑波大学生物資源コロイド工学リサーチユニット 他

日時 令和6年3月11日(月) 9:30 ~17:40

会場 ハイブリッド開催 オンラインおよび筑波大学中地区理科系修士棟C107教室

プログラム

- <9:40~9:50> 開会挨拶 (界面動電現象研究会) 足立 泰久
- <9:50~11:00> 1) コロイド分散系のレオロジー —分散系とともに40余年—
(京都大学名誉教授) 松本 孝芳
- <11:10~12:00> 2) ソフトマターの新しいレオロジー測定法 (大菜技研) 菜嶋 健司
- <13:00~14:10> 3) 安全な嚥下のためのコロイド・レオロジー科学 (湖北工大特別招聘) 西成 勝好
- <14:20~15:10> 4) 可食性ポリイオンコンプレックスを利用した食用分散系の高機能化
(東京都市大学) 黒岩 崇
- <15:20~16:10> 5) 親水性の中性高分子に覆われた帯電コア複合体の界面動電現象
(筑波大学) Saha Santanu
- <16:20~17:20> 6) ハイドロゲル内のソフト粒子の界面動電現象 (東京理科大学名誉教授) 大島 広行
- <17:20~17:30> 閉会挨拶 (高分子と水・分離に関する研究会) 清野竜太郎

参加要領

- 1) 定員 60名
- 2) 参加費(税込) 企業 11,000円 大学・官公庁 5,500円 学生 2,200円
名誉会員・終身会員・フェロー・ゴールド会員・シニア会員 2,200円
高分子と水・分離に関する研究会メンバー 無料
- 3) 申込方法 高分子学会行事申込サイト <https://member.spsj.or.jp/event/>にてお申込ののち、参加費を3月11日までにお振込ください。
- 4) 振込先 銀行振込<三菱UFJ銀行銀座支店(普通)1126232 公益社団法人 高分子学会>
※振込手数料は振込人にてご負担くださいますようお願いいたします。
- 5) 受付 対面参加の方は受理通知メールを出力して当日受付でご提示ください。
オンライン参加の方は事前に要旨集を送付します。直前に会議のURLを送付します。
※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

問い合わせ先 高分子学会 23-1 高分子と水・分離に関する研究会係
〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F
電話 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737